

# 「新人看護職員の臨床実践能力の向上に関する検討会」報告書概要

(平成16年3月10日)

## I 新人看護職員研修の考え方

- ・看護実践の基礎を形成するものとして極めて重要
- ・医療機関の全職員に対する組織的な研修の一環
- ・看護実践能力を強化することを主眼

## II 新人看護職員研修到達目標及び新人看護職員研修指導指針の前提

- ・病院において看護ケアを提供する看護職員を想定
- ・到達目標及び指導指針の内容は、基本事項として提示するが、施設規模等の状況により、適宜調整することを想定

## III 新人看護職員研修到達目標

- ・看護職員として必要な姿勢及び態度並びに新人看護職員が卒後1年間に修得すべき知識、技術の目標を提示
- ・到達目標は、

### 1 看護職員として必要な基本姿勢と態度

### 2 看護実践における技術的側面

#### (2-1) 看護技術

- ①環境調整技術 ②食事援助技術 ③排泄援助技術 ④活動・休息援助技術
- ⑤清潔・衣生活援助技術 ⑥呼吸・循環を整える技術 ⑦創傷管理技術 ⑧与薬の技術
- ⑨救命救急処置技術 ⑩症状・生体機能管理技術 ⑪苦痛の緩和・安楽確保の技術
- ⑫感染防止の技術 ⑬安全確保の技術

#### (2-2) 助産技術

- ①妊産婦 ②新生児 ③褥婦 ④証明書等

### 3 看護実践における管理的側面

## IV 新人看護職員研修指導指針

- ・新人看護職員研修到達目標達成のために必要な施設の要件、指導者の指導方法等を提示

- 1 新人看護職員育成の方針
- 2 施設における研修体制の充実
- 3 各部署における研修体制の整備
- 4 新人看護職員の指導者育成のあり方
- 5 各医療機関への適用
- 6 研修内容の公開等